

1 令和7年度三重県外国人介護人材情報発信事業（県補助事業）

目的 三重県は、インドネシアの保健医療人材の人材育成や相互の教育機関の間で連携を図ることを目的として、インドネシア保健省との間で、令和6年7月に覚書を締結。覚書締結を受けて、インドネシアとの連携強化を図り、外国人介護人材の確保に向けて、本県訪問団が令和7年5月にインドネシア保健省を訪問し、県内介護施設等での就労をPRする現地セミナーを開催する他、現地の教育機関や送出機関を訪問し、県内での就労の魅力や情報発信等を行う県の事業に三重県老施協が参画した。

日程 令和7年5月4日(日)～5月11日(日)

行程

5月4日(日)	集合 中部国際空港⇒シンガポール チャンギ空港⇒インド
5月5日(月)	ネシア スカルノ・ハッタ国際空港⇒ジャカルタ着
5月6日(火)	インドネシア保健大臣面談 インドネシア保健省覚書修正 医療福祉大第3 ジャカルタ校 意見交換・視察 介護人材セミナー参画
5月7日(水)	SJI（日本語学校・送出し機関）視察 国家職業資格認証機構（BNSP）意見交換 介護施設視察 ISO JAPAN 意見交換（日本語教育センター）
5月8日(木)	医療福祉大第1 ジャカルタ校 意見交換・視察
5月9日(金)	ハリム・ペルダナクスマ国際空港⇒ソロ空港 【三重老施協独自事業】セルバインド送出し機関 意見交換・ 視察
5月10日(土)	ソロ空港⇒スカルノ・ハッタ国際空港⇒シンガポール チャンギ空港⇒11日朝 中部国際空港 着 解散

参加施設 三重県医療保健部 長寿介護課 人材確保対策班 担当者2名
協会会員6施設 ※公募による選定

収支

収入の部		支出の部	
三重県補助金	500,000 円	旅費	1,076,930 円
三重老施協人材確保対策費	653,730 円	役務費	76,800 円
計	1,153,730 円	計	1,153,730 円

2 令和7年度三重県介護人材送出国調査事業委託業務（県委託事業）

目的 三重県においては、国内人材の確保等の取組を講じてもおお介護人材は不足しており、令和6年7月にインドネシア保健省との間で覚書を締結するなど、外国人介護人材の確保の取組を強化している。一方で、近年では、アジア諸国の経済発展が続いており、日本の円安や物価高騰等の影響もあり、従来どおりに外国人介護人材を確保することが難しくなっている。こうしたことから、外国人介護人材の新たな送出国のルートを開拓するにあたり、人材の送り出しが期待できる調査国の海外現地機関や教育機関等を訪問し、留学希望者や外国人介護人材に関する情報収集活動を行うとともに、介護分野の特定技能・留学の在留資格で日本での就労等を検討する者を対象とした介護人材現地セミナーを開催するなど、県内介護施設等の魅力を伝える情報発信活動を行う事業について、三重県老人福祉施設協会が県から委託を受けて事業を行った。

日程 令和8年1月25日(日)～1月31日(土)

行程

1月24日(土)	集合 羽田空港⇒スワンナプーム空港⇒ネパール トリブバン国際
1月25日(日)	空港⇒カトマンズ着
1月26日(月)	ネパール カトマンズ市内 現地日本語学校・送出し機関訪問・意見交換 訪問先1 Skytree Education (p)Ltd. 訪問先2 International NIPPON school kathmandu
1月27日(火)	ネパール カトマンズ市内 政府・行政関係者との懇談会 介護人材現地セミナー開催
1月28日(水)	ネパール カトマンズ市内発⇒トリブバン国際空港⇒スリランカ バンダラナイケ国際空港⇒クルネガラ市内着
1月29日(木)	スリランカ クルガネラ市内 介護人材現地セミナー開催
1月30日(金)	スリランカ クルガネラ市内 現地日本語学校・送出し機関訪問・意見交換 訪問先3 genkimura Japanese Language School 訪問先4 Miracle Care Campus、Miracle Health Hospital
1月31日(土)	スリランカ コロンボ バンダラナイケ国際空港発⇒スワンナプーム国際空港⇒関西国際空港着 解散

参加者 三重県医療保健部 長寿介護課 人材確保対策班 担当者2名
三重老施協役員2名、三重県介護福祉士養成施設協議会代表者1名

収支

収入の部		支出の部	
三重県委託金	3,696,000 円	旅費	1,332,000 円
		役務費、会場使用料等	2,016,454 円
		剰余金	347,546 円
計	3,696,000 円	計	3,696,000 円